

牛山副部長が
外国特派員協会にて記者会見

甲状腺がん多発の福島県 メディアの黙殺 患者の孤立

「なぜ、なかったことにされるのか？」

「なぜ私が甲状腺がんになったのかを知りたい」、患者さんがそう苦しんでいる限り、この問いに向き合っていくことが医師の責任だと思いませんか。福島第一原発事故から15年を迎える前日の3月10日、福島県周辺で多発する「小児」



左から井戸弁護士、牛山副部長

国際的報道を求める

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」共同代表の福島原発事故と甲状腺がんの関係を政府や東京電力、国連科学委員会は現在認めていない。他方でチェルノブイリ（チェルノブイリ）原発事故における放射性ヨウ素汚染と小児甲状腺がん発生率の相関を国際機関が認めたのは事故発生から10年後であり、核の被害は歴史的にも過小評価されてきた可能性が高い。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

主張

「一部保険外療養」創設に反対する

薬剤の5割負担、健保法附則の形骸化の梃

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

OTC類似医薬品との代替理由に、約1千100品目の医療用医薬品の患者負担を約5割へ引き上げる「一部保険外療養」の創設が、健保法等改正案の一つとして国会会で審議されている。

各支部総会の案内

※主な議題は2025年度活動報告案、26年度活動方針案等です（お問合せ：各支部045-313-2111）。*議事は会員のみ対象です。記念講演は医療機関スタッフ、ご家族もご参加いただけます。

県央支部

とき 5月7日（木）午後7時10分
ところ 海老名市文化会館（122大会議室）
◇記念講演（現地のみ）午後7時30分
テーマ
「糖尿病診療の医科・歯科連携
— 如何にして連携体制を構築するか —」
講師 かなもり内科院長 金森 晃氏
定員 30名

湘南支部

とき 5月12日（火）午後7時15分
ところ 藤沢商工会館ミナパーク（503大会議室）
◇記念講演（現地のみ）午後7時30分
テーマ
「《道》でたどる藤沢宿の変遷」
講師 藤澤浮世絵館 学芸員 細井 守氏
定員 30名程度

横浜支部

とき 5月12日（火）午後7時30分
ところ 協会会議室
◇記念講演（現地のみ）午後8時
テーマ
「神奈川県海岸線全て歩いてごみ拾い。そこで見えてきた神奈川県と横浜市のあらたなる問題点」
講師 NPO法人海の森・山の森事務局 理事長 豊田 直之氏
冒険写真家
定員 50名

相模原支部

とき 5月13日（水）午後7時50分
ところ 小田急ホテルセンチュリー相模原（8階「みずなら」）
◇記念講演（WEB併用）午後8時15分
テーマ
「医療者が知っておきたいPFASの話」
講師 さがみ生協眼科・内科 牛山 元美氏
内科部長
小田急ホテルセンチュリー相模原・定員20名
WEB参加：下記QRコード
もしくは協会HP
よりお申込み

横須賀支部

とき 5月19日（火）午後7時20分
ところ 横須賀産業交流プラザ（第2研修室）
◇記念講演（WEB併用）午後7時30分
テーマ
「医療DXで今後どうなる!?
医療機関が知っておきたいこと」
講師 神奈川県保険医協会 事務局 主幹 勝亦 琢磨氏
横須賀産業交流プラザ・定員20名
WEB参加：下記QRコード
もしくは協会HP
よりお申込み
※総会にWEB参加の場合は、必ず医療機関名・氏名（フルネーム）を表示させていただきます。

鎌倉支部

とき 5月22日（金）午後7時
ところ 鎌倉生涯学習センター（第3集会室）
◇記念講演（WEB併用）午後7時30分
テーマ
「転倒・腰痛対策による安全な職場づくりを目指した運動の理論と実践」
講師 株式会社ハイクラス代表取締役 神奈川産業保健総合支援センター産業保健相談員 位高 駿夫氏
鎌倉生涯学習センター・定員15名
WEB参加：下記QRコード
もしくは協会HP
よりお申込み

川崎支部

とき 5月25日（月）午後7時10分
ところ 川崎市医師会館（3Fホール）
◇記念講演（現地のみ）午後7時30分
テーマ
「やさしく学ぶ、こころの漢方」
講師 かえるメンタルクリニック 院長 陶山 亨氏